

| 教科 | 科目 | 単位数 | 学年 | 集団 |
|----|------|-----|----|---------|
| 国語 | 文学国語 | 2 | 3 | スポーツ探究科 |

| 使用教科書 | 副教材等 |
|-------------|--------------|
| 文学国語（大修館書店） | リテラ現代文2（文英堂） |

| 科目の目標 |
|---|
| <p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技術を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2) 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p> |

| 評価の観点とその趣旨 | |
|---|---|
| ①知識・技能 | 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技術を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。 |
| ②思考・判断・表現 | 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。 |
| ③主体的に学習に取り組む態度 | 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。 |
| 評価方法 | |
| ①定期テスト、小テスト ②定期テスト、ワークシート ③授業、テストへの取り組み状況、提出物 | |

| 学習計画 | | | | | | |
|------|------------------------------|---------------------|--|-------|---|---|
| 月 | 単元名 | 使用教科書項目 | 単元や題材などの内容のまとまりごとの学習目標 | 評価の観点 | | |
| | | | | ① | ② | ③ |
| 4 | 自然と人間との関係における言語表現の魅力を味わう。 | 『桜の中で、時が重なり合う』平野啓一郎 | ①文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ②「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対する物の見方、感じ方、考え方を深めている。 ③文学的な文章を読むことを通して、自然と人間に対する物の見方、感じ方、考え方を深めようとしている。 | ○ | ○ | |
| 5 | 体験をとおして、日常的なできごとや体験の意味を振り返る。 | 『鍋セット』角田光代 | ①言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解できている。 ②「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 ③筆者のものの見方や考え方をとおして、自分の生き方について考えを深めようとしている。 | | ○ | ○ |
| 6 | 表現の特徴をとらえ、その効果や意味を考える。 | 『赤い繭』阿部公房 | ①文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解している。 ②「書くこと」において、文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にしている。 ③登場人物の心情や情景の描写を、文体や表現の技法に注意して書き換えようとしている。 | ○ | ○ | |
| 7 | 言語表現による自然や文化のとらえ方に着目する。 | 『藤』幸田文 | ①人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 ②「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 ③筆者のものの見方を通して、言語表現による自然や文化の捉え方に着目しようとしている。 | ○ | ○ | |

| | | | | | | |
|----|------------------------------|----------------|--|---|---|---|
| 9 | 語りの特徴に着目し、その効果について考える。 | 『待つ』太宰治 | ①言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ②「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 ③登場人物のものの見方をおさえ、語りの特徴に着目して作品を読み味わおうとしている。 | ○ | | ○ |
| 10 | 口承の物語の特徴や意義を深く理解する。 | 『物語る声を求めて』津島祐子 | ①言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ②文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ③「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や高生天界、描写のしかたなどを的確にとらえている。 ④「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 | ○ | | ○ |
| 12 | 時代背景や舞台設定の意味について考える。 | 『舞姫』森鴎外 | ①文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ②「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係をふまえ、作品の解釈を深めている。 ③登場人物の境遇や時代背景を踏まえて作品の魅力を味わおうとしている。 | | ○ | ○ |
| 12 | 時代背景や舞台設定の意味について考える。 | 『舞姫』森鴎外 | ①文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ②「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係をふまえ、作品の解釈を深めている。 ③登場人物の境遇や時代背景を踏まえて作品の魅力を味わおうとしている。 | ○ | ○ | |
| 1 | 作品の構造をとらえ、日常と違う世界について想像を広げる。 | 『伊豆の踊子』川端康成 | ①人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 ②「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対する物の見方、感じ方、考え方を深めている。 ③作品の構造をとらえ、日常と違う世界について想像を広げようとしている。 | ○ | ○ | |
| 2 | | | | | | |
| 3 | | | | | | |